

近現代文学特論ⅠB

選択 2単位

保田 那々子

1. 授業の概要(ねらい)

この演習では、日本の服飾や平安～中世に関する史料を輪読して理解を深めつつ、自らの興味に基づく研究テーマを設定し、個人で口頭発表して全員で討議する。後期の授業では、前期の授業で設定した研究テーマに対する考察を深めるべく、史料を用いた調査を行って口頭発表を実施する。

2. 授業の到達目標

- ・日本の服飾や平安～中世に関する史料を正しく解釈することができる
- ・研究テーマを掘り下げて調査し、自らの意見をわかりやすく口頭発表することができる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・授業態度(出席、個別発表における質疑など)40%
- ・授業内発表30%
- ・期末レポート30%

※演習科目であるため毎回の出席を基本とする

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書・参考図書は使用しない。適宜プリントを配布する。
史料輪読では参加者の興味にあわせた史料を使用する。

5. 準備学修の内容

- ・史料輪読では各個人の予習が前提となる。必ず事前に読んでおくこと。
- ・個別発表は個人の興味に基づいてテーマを設定するため、日ごろから問題意識を持ちつつ日本の服飾や平安～中世の文化に接することが必要となる。
- ・必要に応じて研究テーマの設定や調査方法について個別に面談を実施する。

6. その他履修上の注意事項

積極的な授業への参加を期待している。
他の学生の授業参加の妨げとなる行為がある場合、退出を命じることがある。
史料輪読と発表の配分は参加人数により変更する場合がある。
発表は上級生から行うことを基本とする。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス・発表割り当て |
| 【第2回】 | 史料輪読① |
| 【第3回】 | 史料輪読② |
| 【第4回】 | 史料輪読③ |
| 【第5回】 | 学生による個別発表① |
| 【第6回】 | 学生による個別発表② |
| 【第7回】 | 学生による個別発表③ |
| 【第8回】 | 学生による個別発表④ |
| 【第9回】 | 学生による個別発表⑤ |
| 【第10回】 | 学生による個別発表⑥ |
| 【第11回】 | 学生による個別発表⑦ |
| 【第12回】 | 学生による個別発表⑧ |
| 【第13回】 | 学生による個別発表⑨ |
| 【第14回】 | 学生による個別発表⑩ |
| 【第15回】 | 輪読史料の概説(初回授業頃に掲載予定) |